




課長	参事	主幹	技術主幹	防災対策係	安全管理係
					

議 事 録

題 目	川内原子力発電所の原子力災害に係る広域避難時間推計業務 打ち合わせ 第4回		
日 時	平成26年3月11日(火) 15:00~16:30		
場 所	鹿児島県庁		
出席者 (敬称略)	四反田氏、赤塚氏、富吉氏、川添氏 (鹿児島県危機管理局原子力安全対策課)		
	[Redacted] (ユーデック㈱)		
作成者	[Redacted]	作成日	H26. 3. 11
資 料	資料：避難時間推計業務 中間報告資料 (修正版)		
議事要旨			
<p>■2月の中間報告後、検討を進めた進捗報告</p> <p>■鹿児島県の状況 再稼働に向けて準備中 最初に再稼働になる可能性もある。</p> <p>■県からのコメント 各ケース比較できるように調整すること。 地震津波ケースは、2段階避難、乗り合わせ人数2人、影40%を基本とする。 他と比較できない派生ケースは不要。 仕様にこだわらずに見直しのこと。 4段階避難は削除する。</p> <p>■津波検討ケースについて 沿岸部の住民は、内陸側に移動後自家用車利用率50%で避難開始とする。</p> <p>■地震検討について 国道270号を止め、高速道路を利用する。</p> <p>■道路インパクトについて 津波・津波避難先から移動→津波による避難先から移動する場合 地震・R270通行止→国道270号が通行できない場合 高速道路通行止→南九州自動車道が通行できない場合</p> <p>■避難方向及び経路の提案 各市町村住民の避難方向及び経路の提案は、不要とする。</p> <p>■追加ケースについて 乗り合わせ人数：4人/台+交通誘導を追加する。 対策案(交通誘導)→乗り合わせ人数：2人/台+交通誘導と2つ。</p> <p>■報告書について 乗り合わせ人数4人/台を最初にもってくる。</p>			
以上			